

事業番号	11 08 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	■補正予算案	□点検
事業名	快適・安心すまいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課	

1 現状と課題

- ・2050ゼロカーボンに向けて、住宅分野における更なるCO2排出の削減が必要
- ・少子高齢化と人口減少の進展により、住宅ストックが量的に充足されている一方で、空き家の増加や住宅産業の後継者不足等の住宅施策上の諸問題が顕在化し、既存住宅の有効活用、空き家の適正な維持管理による居住環境の悪化の防止、地域の住まいづくりを支える担い手確保に向けた取組等が求められている状況

2 事業目的

- ・省エネルギーへの配慮や豊富な森林資源を活用した住まいづくりの促進を図り、快適で健康な住まいの普及を通じて、2030年度までに「全ての新築住宅のZEH化」及び2050年度までに「住宅ストックの平均でゼロカーボン化」を目指す。
- ・人口減少社会に対応するため、空き家の適正な維持管理、移住・二地域居住の促進に資する既存住宅の有効活用、住まいづくりの担い手確保に向けた普及啓発や木造建築物の魅力の発信等に取り組み、多様な居住ニーズに応える魅力的な地域づくりを目指す。

3 事業目的を達成するための取組

①住宅オールZEH化の促進

- ・信州健康ゼロエネ住宅普及促進加速化事業に係る助成金の額の確定に伴う減額補正

※その他の事業については当初予算のとおり

②空き家の適正管理・利活用の促進

当初予算のとおり

③信州木のある暮らしの推進

当初予算のとおり

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移	実績			
①	指標なし										新築住宅におけるZEHの割合の状況を「5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標」に記載。
②	当該補助金を活用して既存住宅現況調査の実施又は既存住宅売買瑕疵保険へ加入した件数	件	52	39	↘	50	↗	60			既存住宅現況調査及び既存住宅売買瑕疵保険への加入に対して補助を実施し、中古住宅の流通を促進する。
③	新築住宅（持ち家）における木造在来工法の割合	%	76.9	76.2	↘	73.3	↘	75			長野県住生活基本計画において、木造在来工法の新築住宅（持ち家）の割合を現状維持の75%と設定しているため。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況					目標 年/年度 数値		
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	☆新築住宅におけるZEHの割合	%	2022 (R4)	—	2023 (R5)	62.1	2024 (R6)	69.0	2027 (R9)	90

6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	435,443	△ 17,695	△ 17,695	417,748	233,122		25.0
R6年度	0	407,644	0		407,644	226,953	387,130	25.0
R5年度	0	393,494	△ 68,941		324,553	178,648	311,940	27.8

事業番号	11 08 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	■補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	快適・安心すまいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課	

細事業No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
1	住宅オールZEH化推進事業	316,904 千円	396,165 千円	予算現額 うち今回 補正額 402,239 △ 17,695 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州健康ゼロエネ住宅普及促進加速化事業	補助金 委託	信州健康ゼロエネ住宅指針に適合する住宅の新築又はリフォームへの助成 信州健康ゼロエネ住宅の周知業務の委託 新築への助成 289件、リフォームへの助成 69件	
2	新築戸建て住宅オールZEH化推進事業	委託	オールZEH化に向けてボトルネックとなる技術力・価格競争力のない県内工務店等への普及啓発 研修動画の作成	

細事業No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
2	空き家適正管理・活用促進事業	2,455 千円	5,701 千円	予算現額 うち今回 補正額 10,340 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	空き家適正管理促進事業	補助金 直接	消費者が安心して空き家を購入できる市場環境を整備するため、既存住宅状況調査（インスペクション）費用及び既存住宅売買瑕疵保険料への補助 専門家派遣により情報提供及び技術的な助言を行い、市町村が実施する空き家対策へ支援 既存住宅状況調査・瑕疵保険料 60件、市町村へ専門家の派遣 延べ50名	
2	空き家等の市場流通促進事業	直接	空き家にすることなく住まいの流通を進めるための仕組の検討 検討会議の開催 4回	

細事業No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
3	信州木のある暮らし推進事業	2,245 千円	3,163 千円	予算現額 うち今回 補正額 2,961 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	"信州の木"建築賞	直接	優れた木造建築物を表彰することで、木造建築物の魅力を広く発信し、木造建築物の普及と担い手を確保 建築賞の実施	
2	木造建築担い手育成啓発事業	直接	キャリア教育の一環として、中学校へ大工技能者を派遣 大工技能者派遣 延べ17クラス34人	

細事業No.	細事業名	R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
4	住宅・建築施策推進	2,949 千円	2,615 千円	予算現額 うち今回 補正額 2,208 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	新たな住宅セーフティネット普及事業	直接	市町村担当者（住宅及び福祉部局）、地域の福祉関係者、不動産関係者等による市町村居住支援協議会設立に向けた支援 勉強会の開催	
2	信州多様な住まい方推進事業	委託	豊かな自然や美しい景観、地域の歴史や文化に根差した信州らしい多様な住まい方を広く発信するため、情報発信サイトを運営 ホームページ管理運営業務委託	
3	ふるさと古民家再生支援事業	直接	古民家の安全・安心で魅力ある適切な活用等を図るため、専門家を派遣して建物の調査を行い、修繕・再生の可能性、維持管理方法等のアドバイスを実施 古民家調査 20件	